



【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	敦賀市家庭教育支援チーム (呼称: <u>親教育プロセス</u>) URL: <u>http://oyapro.jp/</u>
②活動拠点	敦賀市 中郷公民館
③活動範囲	敦賀市内を中心に県内全域 等
④組織体制	<u>3</u> 人 子育てコーチ2人 スター・ペアレンティング ファシリテーター1人
⑤活動開始年度	<u>平成 26 年度</u>
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 代表 三國真弓 (TEL)090-7752-7249 (E-mail)oya.process@gmail.com

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

<p style="text-align: center;">③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <p>○目的…のびのびと主体的に行動できる子が育つように&親が子育ての問題を解決し自分らしい子育てができるように、役に立つ知識を提供する。また、親と子の良い信頼関係の築き方や、子供のやる気を引き出す関わり方などを提供する。</p> <p>○活動内容…子どもに関わる大人を対象に、子どもとの関わり方について学習会を開催</p> <p>例として 2020 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月…アンガーマネジメント(怒りを爆発させずに、自分の意見を伝えるコミュニケーションの方法を学ぶ) ・9月…やる気の出し方(勉強などを強制するのではなく、やる気の出し方を学ぶ) ・10月…叩かず甘やかさず子育てする方法(親子意見が分かれた時の、どちらの意見も反映したどちらにとっても良い方法のを見つけ方を学ぶ) ・11月・12月…性教育(前後編)(自分や他者を尊重し、生きていく為の知識を学ぶ) ・1月思春期講座(思春期特有のホルモンなど心身の変化や関わり方を学ぶ) <p>心理学脳科学などの発達により、それらの知識がある事で防げたり叶えられる事が多々ある。しかし世間では子育てについての知識より、過去の踏襲や思い込みが大半を占め、親子がどう感じどう考えるかより、世間の噂話に流されるような育児となりがちである。強制・指示・否定しない関わり方や、「自分さえ我慢さえすれば」ではなく、自分も他者も尊重する考え方や方法を学ぶ。その結果、児童虐待防止になるだけでなく、人生を豊かに過ごすための方法を学ぶ事ができる。また、親が学ぶ事で、子どもに伝えて行く連鎖にもなる。</p> <p>制服・学用品リユース活動で、必要とする人ともう必要でない人を仲介する。(事務所にて預かり、必要な方にお渡し)ゴミを減らし、物を大事にする心を育て、人との繋がりを感じられるきっかけを作る。</p> <p>新型コロナをきっかけに、講演はネット(ZOOM)開催も始めた。県内だけでなく、県外の方にも利用頂けるようになった。移動の手間や時間を省け、好評頂いている。</p>
<p style="text-align: center;">④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<p>2020 年度後期は、のべ 150 人程度の保護者に学習会を開催。リユース活動は、月数名程度の問い合わせに対応している。</p> <p><講座参加者のお声></p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の方の考えを聞け自分の子育てを振り返られた、早く子供に会って学んだ事を使いたくなった等の意見があった。 ・講座参加前と比較したところ、子供の気持ちをくみ取れるようになった、子供を褒める事ができ、子供との信頼関係を取り戻す事ができた等の成果があった。 ・子供への見方が変わった ・自分の子育てを振り返られるようになった <p>など暴力をしない自分らしい子育てに活用されている声をいただく。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

ソーシャルディスタンスをとるなど3密対策を徹底し、開催。



ネット中継をするなど、県外の方にも利用頂けるようになった。



<制服・学用品リユースのお声>

- ・経済的に厳しいのでとても助かった
- ・経済的に困窮とまではいかないが、浮いたお金でお出かけするなど、子どもに家族で楽しい体験をさせてあげたいと思う
- ・学校を越えて譲ってもらえ、まだ見ぬ人とのご縁を感じられた
- ・大事に着たい

制服リユースの活動をきっかけに、経済的にお困りの方とも出会えるきっかけになるので、市内で活動される子ども食堂さん等を紹介し利用されるようになるなど、他機関の支援に繋がるきっかけにもなっている。

⑤活動財源
(複数チェック可能)

- 文部科学省補助事業(事業名:)
- 文部科学省委託事業(事業名:)
- 厚生労働省事業(事業名:)
- 地方公共団体単独事業として実施
- 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)
- その他の支援により活動を実施
- ()